

*それぞれの題材の学習に生かせる既習事項はどのようなことか、それぞれの題材で学んだことがその後の学習でどのように生かせるのか、参考にしてください。

*それぞれの題材に対応する「6 小学校」、「7 中学校」のページが示してあります。

A 表現

小学校 1・2年生 造形遊び

内容 A 表現(1)

	材料を基に造形遊びをする活動を通して、	次の事項を指導する。
ア	身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくること。	小学校には、「造形遊び」があります。 今までありましたが、平成20年の改訂で 「造形遊び」という言葉が、はっきりと示さ れました。
イ	感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること。	
ウ	並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくること。	

小学校 3・4年生 造形遊び

内容 A 表現(1)

	材料や場所などを基に造形遊びをする活動を通して、	次の事項を指導する。
ア	身近な材料や場所などを基に発想してつくること。	「活動を通して」ということ は、活動が目標なのでは なく、資質や能力を育てる ことが大切であるというこ とを押さえましょう。
イ	新しい形をつくるとともに、その形から発想したりみんなで話し合ったりしながらつくること。	
ウ	前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどしてつくること。	

小学校 5・6年生 造形遊び

内容 A 表現(1)

	材料や場所などの特徴を基に造形遊びをする活動を通して、	次の事項を指導する。
ア	材料や場所などの特徴を基に発想し想像力を働かせてつくること。	
イ	材料や場所などに進んでかかわり合い、それらを基に構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながらつくること。	
ウ	前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしてつくること。	

小学校 1・2年生 絵や立体・工作

内容 A 表現(2)

	感じたことや想像したことを絵や立体、工作に表す活動を通して、	次の事項を指導する。
ア	感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。	
イ	好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。	
ウ	身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。	

小学校 3・4年生 絵や立体・工作

内容 A 表現(2)

	感じたこと、想像したこと、見たことを絵や立体、工作に表す活動を通して、	次の事項を指導する。
ア	感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けて表すこと。	
イ	表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。	
ウ	表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。	

小学校 5・6年生 絵や立体・工作

内容 A 表現(2)

	感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、	次の事項を指導する。
ア	感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けて表すこと。	
イ	形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。	
ウ	表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと。	

中学校1年生

内容 A 表現(1) **感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、** **発想や構想に関する次の事項を指導する。**

ア 対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出すこと。

イ 主題などを基に、全体と部分との関係などを考えて創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

(1)は、「感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想」です。

中学校2・3年生

内容 A 表現(1) **感じ取ったことや考えたことなどを基に、絵や彫刻などに表現する活動を通して、** **発想や構想に関する次の事項を指導する。**

ア 対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと。

イ 主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること。

中学校1年生

内容 A 表現(2) **伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、** **発想や構想に関する次の事項を指導する。**

ア 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ること。

イ 他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

ウ 用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

(2)は、「目的や機能考えた発想や構想」です。

中学校2・3年生

内容 A 表現(2) **伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、** **発想や構想に関する次の事項を指導する。**

ア 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて形や色彩、図柄、材料、光などの組合せを簡潔にしたり総合化したりするなどして構成や装飾を考え、表現の構想を練ること。

イ 伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

ウ 使用する者の気持ちや機能、夢や想像、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。

中学校1年生

内容 A 表現(3) **発想や構想をしたことなどを基に表現する活動を通して、** **技能に関する次の事項を指導する。**

ア 形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現すること。

イ 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表現すること。

(3)は、「創造的な技能」です。(1)と(3)、(2)と(3)というように組み合わせて指導計画を立てる必要があります。

中学校2・3年生

内容 A 表現(3) **発想や構想をしたことなどを基に表現する活動を通して、** **技能に関する次の事項を指導する。**

ア 材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現すること。

イ 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現すること。